

『時代の風に乗せて
はばたけ県特産品』

読者だより

前号へのご意見をお寄せいただきましたので、その一部をご紹介します。

●事業活動に参考となる情報、物産展や商談会への参加方法が具体的かつコンパクトにまとめられており良かった。
[鹿児島市職員]

●最適な情報枚数で読みやすかったです。
[水産加工業]

●物産観光展の情報を取りあげておりよかったです。今後とも、このように会員に行動をうながす記事・コーナーをとりあげてほしい。
[鹿児島県職員]

●参考になる情報が沢山あり、次号も楽しみです。
[焼酎製造業者]

●全体的にとっても良いものができたと思いますが、少し固くまとまっているような気も。楽しい「ラム」や「もりの知り」コーナー、耳より「ユース」などが入っても良いのではないかと思います。
[大島紬製造業者]

●全体的に文字が多いのが気になりました。明朝体よりゴシック体の方が読みやすいです。冊子の総合タイトルがあれば、「協会だより」では、少し違和感がありました。
[さつま町職員]

●全体的に写真が暗い。鹿児島は明るいイメージ、特産品は明るいイメージが必要だと思います。少しかたい感じがする。(写真は全部四角。丸いものがあつて良いのではないか。)

●「商工団体職員」があつて良いのではないか。
[大島紬製造業者]

物産観光展出展までの流れ

時期	項目
毎年12月頃	次年度開催の物産観光展への出展希望を調査
会期4～5カ月前	テーマ企画などに基づき出展者や出品商品を選定
会期3ヶ月前	会員などへの出展のご案内
会期1～2カ月前	会場側との個別打合せ会の開催
会期	出展の決定
会期	出展

今年4月以降の物産観光展の開催予定です。

今からでも間に合います。出展のご要望や提案したい商品の情報については、随時、協会までお寄せください。

開催地	会場	開催時期
広島県広島市	(株)三越 広島店	平成19年4月上旬
東京都中央区	(株)三越 日本橋本店	4月中旬
兵庫県神戸市	(株)大丸 神戸店	5月下旬
大分県大分市	(株)トキハ	6月中旬
千葉県船橋市	(株)東武百貨店 船橋店	7月下旬
茨城県水戸市	(株)水戸京成百貨店	8月上旬
福岡県北九州市	(株)井筒屋 黒崎店	10月上旬
千葉県千葉市	(株)三越 千葉店	10月中旬
北海道札幌市	(株)東急百貨店 札幌店	11月上旬
北海道北見市	(株)さくら東急百貨店	11月中旬

※開催時期は、会場側の都合により変更することがあります。

いつでもご相談ください。

鹿児島ブランド支援センターのご紹介

Q お菓子のパッケージを検討しているのですが、どういった点に気をつけたいのでしょうか？

A パッケージは、消費者が店頭で並び類似商品の中から一つだけを選んで買ったための判断基準となりますので、中身と同様、とても重要です。パッケージを検討する際は、①中身をしっかりと保護しているか、②陳列時に美しく人目をひくか、③中身を出し入れしやすいか、④経費が商品価格に対して適正か、⑤環境保護等に配慮した包装材などを使用し、正しい識別表示をしているか、などに注意する必要があります。高齢化の進む今後は、誰にでも使いやすい、わかりやすいデザインがますます必要になってきます。

Q 商品には、最低限、何を表示したらいいのでしょうか？

A 加工食品の一般的な表示事項は、「名称」「原材料名」「内容量」「賞味期限」「保存方法」「製造者」の6項目あり、この順に一括で表示しなければなりません。「JAS法」、「食品衛生法」など関係する法令等が多いので、食品の表示は特に注意が必要です。原料原産地表示、食物アレルギー表示、遺伝子組み換えに関する表示、有機食品に関する表示、栄養成分表示など表示すべき事項が追加になる商品群もあります。

また、繊維製品については、「家庭用品品質表示法」に基づいた、繊維の組成、家庭洗濯などの取扱方法、表示者名及び連絡先などの表示が必要です。照明器具などの電気用品の場合は、「電気用品安全法」に基づき「事業届出」を経済産業局に提出し、「PSEマーク」を表示する必要があります。

さらに、全商品に共通する事項として、「容器包装リサイクル法」に基づく識別表示が必要となっています。

Q 商品を新たに改良したので、市場の反応をみてみたいのですが…。

A 消費者や売場担当者の意見を収集し、商品の改善や販路拡大に活かすことは大変重要なことです。

協会では、百貨店、量販店および鹿児島ブランドショップなどの売場における試食販売やアンケートなどを実施し、消費者や売場担当者の評価や購買状況を広く収集することについての支援も行っておりますので、お気軽にご相談ください。

Q 地域特産品協会でもものづくりの研修会を実施したいと考え、講師を探しているのですが、どうしたらいいのでしょうか？

A 研修会や求評会などのテーマにあわせて外部の専門家などを協会でご紹介できます。協会職員や鹿児島県ふるさと特産運動推進指導員が対応する場合は、派遣経費は無料です。外部の専門家などをする場合は、旅費・謝金などが必要となりますが、一部を協会が負担できる場合もありますのでお問い合わせください。

また、年に数回、商品開発や販路拡大などについての研修会を協会主催で実施しておりますので、テーマや講師についてのご意見もお寄せください。

Q 首都圏で工芸品の展示即売会ができる場所がありませんか？

A 東京有楽町のかごしま遊楽館の3階に鹿児島ブランドショップ東京店「工芸品ギャラリー」があります。約28㎡の広さで、個展はもちろん、グループ展などにもご利用いただけます。是非、積極的にご利用ください。

利用の条件などについてはお問い合わせください。



工芸品ギャラリーでの大島紬展

鹿児島ブランド支援センター

TEL:099-230-3908
FAX:099-230-7068

所長 下野 裕二
企画開発課主事 木下 和代
鹿児島県ふるさと特産運動推進指導員 富山 晃次
工芸品デザイン担当 山川 恵久
食品担当 平山 宏之
東京駐在所長

表紙の写真

垂水人形 干支
垂水人形は、明治末期から大正初期が最も盛んで、戦後途絶えていたのを平成元年復活させた土人形です。